

県教育委員会では、宮崎県職員採用試験・一般行政区分試験の合格者の中から、本人の希望を踏まえて「教育行政職員」として採用しています。

教育行政職員とは

主な勤務場所：教育委員会事務局、学校以外の教育機関、公立学校など

仕事の内容：教育委員会事務局や学校以外の教育機関では、教育施策の策定や推進、予算の編成・執行、教育施設の整備、教職員の採用・配置など、教育振興に関する企画立案等を行います。また、公立学校では、学校施設や教材の整備、教職員の給与管理など、教育活動全般に関わる事務を行います。

宮 崎 県 教 育 委 員 会

事務局(本庁・出先)

- 教育政策課
- 財務福利課
└ 育英資金室
- 高校教育課
- 義務教育課
- 特別支援教育課
- 教職員課
- 生涯学習課
- スポーツ振興課
- 文化財課
- 人権同和教育・生徒指導課
- 教育事務所
- スポーツ指導センター

教育機関

- 教育研修センター
- 県立図書館
- 県立美術館
- 総合博物館
- 西都原考古博物館
- 埋蔵文化財センター
- 県立学校

先輩職員からのメッセージ

竹村 杏香

所属／財務福利課育英資金室
入庁／令和6年度



■ ある1日のスケジュール

- 8:20～ 出勤
- 8:30～ 業務開始・メールチェック
- 8:45～ 申請書等の提出書類チェック
- 12:00～ 昼休憩
- 13:00～ 申請書等の提出書類チェック、選考委員会の準備
- 17:15～ 退勤



● 教育行政職を選んだ理由を教えてください。

知事部局、教育委員会の両方可としていました。教育委員会は知事部局と同様に様々な部署がありますが、「教育」という一つの軸を持ってこれからの将来を担う子どもたちに関わる大切な仕事をしています。

教育や子どもたちと関わる仕事をしたいと思っていたので、教育行政職で採用されて良かったと感じています。

● 現在どんな仕事をしていますか。

宮崎県育英資金の貸付を担当しています。

主に、学校から提出される申請書・借用証書のチェック、学力・家計・連帯保証人の審査をしています。

経済的理由により就学が困難な生徒に対し育英資金を貸与することで、生徒が安心して学べる環境をつくることのできるよう、責任感を持って業務に取り組んでいます。

● これまでの仕事の中で、特に印象に残っていることはありますか。

各学校から提出される育英資金の貸与を希望する生徒の書類チェックです。申請書の他に住民票や所得証明書といった個人情報に記載されてある書類が提出されるため、慎重に取り扱いました。審査後はシステムへ入力するのですが、その入力作業も多くあったため、大変だった記憶です。

また、県民の方からの電話が多いことも印象に残っています。育英資金担当は他の担当と比べて電話対応が多いため、入庁した4月当初は電話対応の多さ、難しさに苦戦しましたが、先輩職員のアドバイスを受けながら無事対応を終えた時は、安堵感とともに非常にやりがいを感じました。

今後の目標

今年4月に入庁したばかりなので今は自分の担当業務を覚えることに必死ですが、現在勤務している教育委員会事務局だけでなく、これから公立学校の事務や博物館、図書館等の出先機関での業務を経験し、教育行政職員として貢献していけたらいいと思っています。

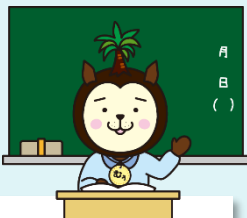
休日の過ごし方

友人と遊んだり家でゆっくりしたりしてリフレッシュしています。



長堀 颯太

所属／県立延岡高等学校
入庁／令和5年度



■ ある1日のスケジュール

- 8:15～ 出勤・メールチェック・電話対応
- 9:00～ 支払処理・調査回答
- 12:00～ 昼休憩
- 13:00～ メールチェック・各種契約締結
- 15:00～ 延岡地区の学校事務職員で情報交換会
- 17:00～ 退勤



● 教育行政職を選んだ理由を教えてください。

「教育という営みに行政の視点から携わりたい」と考え、大学の教育学部に進学後、ご縁をいただき、宮崎県教育委員会に入庁しました。

特に学校教育に関心があった私は、教育行政の立場から、学校教育が社会の変化に置いていかれることなく、新たな社会を創り出すことのできる場所にすることを働く上でのテーマに据えています。

入庁前は、教育行政の仕事というと制度や政策の企画立案とばかり思っていたのですが、現在の勤務校のように、学校事務職員として学校経営に参画することも重要な業務だと感じています。現場の声に耳を傾け、将来教育委員会事務局に異動した際に効果的な業務ができるよう、日々職務に励んでいます。

● 現在どんな仕事をしていますか。

主な担当は、学校に配分されている予算の歳出管理です。

具体的には、学校で使用している電気や水などの支払いを始め、施設の点検の外部委託、授業や校務で使用する物品の調達・管理になります。いわゆる「事務」的な仕事ではありますが、先生方とコミュニケーションを密にし、要望に応えることができたときは、やりがいを感じることができます。

● これまでの仕事の中で、特に印象に残っていることはありますか。

昨年度の卒業生が卒業式後に挨拶にきてくれたことです。学生の時の事務室の先生を皆さんは覚えていますか？恥ずかしながら、私は全く記憶にないのですが(笑)、生徒や保護者にとっては事務室の職員も、教壇に立てられる先生も、同じ「先生」です。だからこそ、日々、先生方だけではなく、生徒や保護者、地域の方とのコミュニケーションをとる機会を大切にしています。

● 受験生へメッセージをお願いします。

地方教育行政職員は日本の教育を支える重要なアクターであり、学校で奮闘されている先生方と協働できる唯一無二の仕事だと思います。志ある皆様と一緒に、宮崎県の教育を盛り上げていくことが出来る日を楽しんでいます。

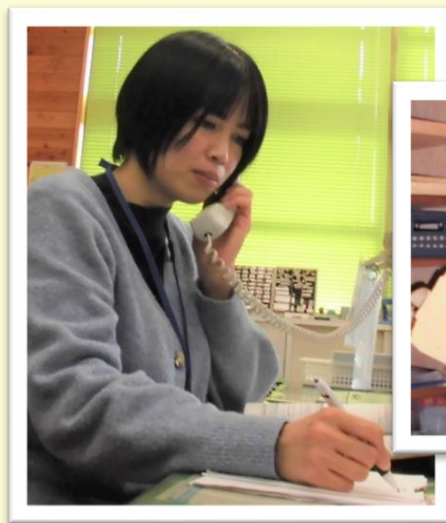
受験生の皆さんへ。座学は大丈夫だと思いますので、面接のアドバイスを。(教育)行政職員として何を成し遂げたいのか等、「夢」を語ることが重要なと私は思います。先行き不透明な社会だからこそ、パッションが必要だと思いますので、是非ぶつけにきてくださいね。応援しています。

葛島 理華子

所属／都城市立祝吉小学校
入庁／令和6年度

■ ある1日のスケジュール

- 8:00～ 出勤、メール・連絡事項等確認
- 9:00～ 消耗品の在庫確認・発注、倉庫の整理
- 10:00～ 旅行命令書の確認
- 12:00～ 給食・昼休憩
- 13:00～ 出勤簿・休暇処理簿の整理・確認
- 16:45～ 退勤



● 教育行政職を選んだ理由を教えてください。

学校事務職員という仕事に関心があり教育行政職を選択しました。

学校事務の仕事は教職員のサポートだと思っていましたが、実際に勤めてみると、教職員と肩を並べて学校経営に参画するという思った以上に積極的な存在であることを知りました。また、義務制の学校では、宮崎県公立小中学校事務研究会や共同学校事務室という事務職員で構成される組織があり、手厚い初任者指導や他校の事務職員との繋がりががあります。みんなで初任者を育てよう、助け合おうという事務職員の方々の気持ちがとても心強く、安心して仕事ができます。

● 現在どんな仕事をしていますか。

現在の主な業務は教職員の勤務管理や出張に係る旅費事務です。

事務室では他にも予算や給与、給食、備品管理、教材費出納など幅広い業務があります。どの教室にどんな備品があるかを確認する作業では、保管場所が移動し、探してもなかなか見つからない物もあり、校内での1日の歩数が1万歩近くなった日もありました。こんなことまで事務職員の仕事なの？と驚くこともあります。早く仕事を覚えられるよう先輩について回る日々です。

● これまでの仕事の中で、特に印象に残っていることはありますか。

先生方から挙げられた学校内の危険箇所への対策・施設修繕の要望に、どのように対処すべきか学校中を点検して回ったことがありました。

事務職員と聞くと、ずっと座って作業をしているとイメージしがちですが、「教える」こと以外は事務職員に関係する仕事だということを改めて実感しました。

予算の都合上、全てを業者に依頼することはできないため、可能な限り自分たちで対応する必要があり、部品の買い出しから作業まで全て取り組んでも、変化に気づかれないほど地味なこともたくさんあります。しかし、子どもたちが元気に過ごしている姿を見ると、また頑張ろうと何度も思います。

境 竜治

所属／文部科学省派遣
入庁／平成 30 年度



● 教育行政職を選んだ理由を教えてください。

正直に申しますと、内定の際に、「知事部局」と「教育委員会」の選択肢を目にするまで、「教育委員会」の採用があることを(当時は)知りませんでした。

私自身、教員に憧れていた時期もありましたが、教員とは異なる立場で宮崎の教育に携わり、支えていきたいと思い選択しました。学校現場で事務職員として勤務してみたいという思いもありました。

● 現在どんな仕事をしていますか。

令和6年4月から文部科学省の行政実務研修生として、「総合教育政策局 教育人材政策課 教員免許・研修企画室 教職員研修係」で勤務しています。

教職員研修係では、主に全国教員研修プラットフォームに関する業務、教育委員会や大学が行う事業への補助金交付の審査等を行っています。

係の一員として、文部科学省が実施している「令和の日本型学校教育」を担う教師に求められる資質能力を育成するための事業を様々な形で支えることが、最終的には子どもたちのよりよい学び、充実した学びにつながると考えています。

● これまでの仕事の中で、特に印象に残っていることはありますか。

学校事務職員として中学校に赴任したのが令和2年でした。

新型コロナウイルスに翻弄され、様々な制限がかかる中でしたが、必要な対策を講じたうえで地域の方や町の教育委員会とも協力し、できる限りの学校行事を実施することができました。そのような中であっても、本番に向けた準備や当日のパフォーマンスに全力を尽くす生徒たちの姿を見て感動するとともに元気ももらいました。

今後の目標

文部科学省で勤務しているからこそ得られる情報をできる限り吸収し、宮崎県へ還元できたらよいと思います。少しでも知見を広げ、今後の勤務に活かしたいです。

休日の過ごし方

家族で公園に出かけたり、観光地巡りをしたりしています。
(東京は意外と公園が多いです。)

● 受験生へメッセージをお願いします。

ふり返ると、私はこれまで教育委員会事務局、学校事務職員(中学校)、教育研修センター、文部科学省で勤務してきましたが、直接的な業務内容は異なるものの、最終的に行き着く先は「子どもの学びの充実」だったのではないかと考えるようになりました。

教育委員会では他にも「生涯学習」「スポーツ振興」「特別支援教育」など、それぞれの分野の課題に対応するための部署があります。

学校教育だけにとどまらず、宮崎県全体の「人を育てる」という広い意味での「教育」に携われるというのは魅力的だと思いますので、ぜひ、教育行政職を選んでいただきたいと思います。

お問い合わせ先



宮崎県教育委員会

教育政策課 人事担当

〒880-8502 宮崎市橘通東 1-9-10

T E L : 0985-26-7554

E-mail: kyoikuseisaku@pref.miyazaki.lg.jp

